

大満寺・檀信徒の皆さまへ

大満寺永代供養堂 承遙閣



「承遙閣」について

この建物は、承遙閣(じょうようかく)と申します。現代の世相から子供さんのいない方、身寄りのない方、色々の事情によりその家の墓で供養できない方々が永代供養できるように大満寺の檀信徒の皆さまによって建てられたものです。詳しくご相談を希望する方は大満寺までご連絡下さい。

以前から、檀信徒の親類縁者の皆様など、一部の方から『自分には子供がいないので将来無縁になるのに、わざわざお墓は建てたくないが、供養はして欲しい・・・、もしくは、子供は女の子だけで全員嫁にいつてしまい将来、無縁墓になってしまう等々・・・様々な理由で、今後墓守りがないので、将来のご供養はすべて、お寺で見ていただきたい、そのために、お寺で永代供養堂を是非作って欲しい・・・。』というご意見を、以前から多数の方々より頂いておりました。お寺としても現在の世の中の風潮を考えると、少子化や一人っ子同士の結婚等で、将来無縁墓になる墓守りの方々の先祖供養の一つの形として、無縁墓に成らない為の永代供養堂を、檀家様・又は檀家様以外の方でも希望のある方のために建設いたしました。

建物の名前も永代供養堂『承遙閣』とし、名前の意味合いとしては、今から約七百五十年前にお亡くなりになられました曹洞宗の大本山永平寺の、開祖・道元禅師の御霊骨が安置されている、本山内の建物の名前が『承陽殿』と申しますので、その『承』の一文字を引用し、大満寺の檀信徒の承遙閣に眠る御霊骨も、遙か遠くのご本山の『承陽殿』に対して遙拝し、仙台・向山の地に居ても、その功德にあやかり、永代にわたって供養していく、という意味でございます。ご本尊様は阿弥陀如来さまです。

永代供養堂『承遙閣』の建立場所ですが、現在の大満寺旧本堂『至浄殿』の前に建てました。その場所にした理由は、お墓まいりに来られる檀家の皆さんが、通りがてら、おまいりも出来る好立地であると考えたためです。永代供養堂は無縁ではないにしても、常日頃、たくさんの方々におまいりをいただける場所が最適地と考え、建立場所は吟味し、承遙閣の建設場所を決め、平成15年11月に建立されました。

使用の際のお布施は個別の内容で変わり、お布施の額は一定ではありません、相談によってお布施の額は決まりますので、永代供養堂の使用をご希望する方は、是非、大満寺までお気軽にご連絡下さい。

合掌



<http://www.daimanji.or.jp/>